提言の要約

提言 1
活断層の定義にスケールを入れ、熊本地震、能登半島地震での新知見に基づきダメージゾーンの幅を評価せよ

提言 2
胆振東部地震、能登半島地震で明らかになった新知見に基づき、「科学的特性マップ」の誤りを評価せよ

提言 3
能登半島地震で明らかになったように、変動地形学的研究により特定された海底活断層の存在を認定し、活断層の連動を十分考慮せよ

提言 4
熊本地震、能登半島地震で明らかになった活断層の連動を前提とし、地震本部が出している黒松内低地断層帯の評価を尊重せよ

提言 5
能登半島地震の群発地震の新知見に基づき、深部流体に関与する低周波地震が確認される地域は候補地から除外せよ

提言 6
不均質で脆弱な岩盤である水冷破砕岩(ハイアロクラスタイト)は候補地から除外せよ

提言 7
第四紀火山とされる資料を無視した恣意的な文献の選定を改めよ

提言 8
地層処分技術 WG に「声明」の呼びかけ人を参加させ、声明の内容を議論せよ

（提言 1~5 が今回の能登半島地震に密接に関わる）